



麻里布小だより



http://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/marifu-e/

令和8年6月号

「見せつけろ かがやくきずな 麻里布っ子」～運動会～

5月23日(土)運動会を開催しました。御家庭の支援により、児童は練習期間中の厳しい暑さにめげずに準備し、当日は爽やかな天気のもと、はつらつと演技することができました。



プログラム開始直後から応援係を中心に赤白ともに一体となって声援を送る姿や、一人ひとりが全力でやり抜く姿は、持っている能力を存分に発揮するものでした。6年生の責任感ある係活動や、式を盛り上げた金管バンドの活躍もありました。これからも全校児童が自信をもち、何事にも一生懸命取り組んで力を伸ばし続けることを期待しています。



多くの観覧の方が駆けつけてくださる前で演技や競技をすることはとても緊張しますが、その経験を積み重ねて、堂々と表現する力をつけることができるのも麻里布小の強みです。将来、どんな場面でも物怖じすることなく想いや考えを表現できる人になることを期待しています。

保護者・御来賓・地域の皆様、最後まで御声援ありがとうございました。これからも一緒に麻里布の子ども達の成長につながる御支援をよろしくお願いします。



火災避難訓練・緊急時下校

5月27日(水)は火災想定避難訓練、29日(金)は緊急時下校(集団下校)を続けて行いました。火災訓練は、予め時間を知らせないで実施しましたが、一人ひとりが「お・は・し・も」(おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない)を意識しながら真剣に取り組みました。不審者情報等を想定した緊急時下校では、教員の引率とともに地区ごとに集団で帰宅する体験をしました。



近年は異常気象という言葉が日常的に使われるほど、災害に見舞われることが増えています。「備えあれば憂いなし」となるよう、訓練を生かして自分の身を守る行動につなげていってほしいと思います。

「ケイタイのいじめ」について

シリーズ～どうする・どうしてる?こどものケイタイ～

前回は、携帯を持つ際の判断についてお話しました。(詳しくは5月号)今回はSNSを通じたいじめについてのお話です。携帯を持つと、電話機能よりはSNSやネット検索、ゲームでの利用が多く時間を占めます。我が子に勉強して欲しくないと思う親は少ないと思いますが、与えることで勉強時間を奪っているのが現状です。SNSの普及によっていじめも多発化・深刻化しています。「ネット空間の匿名性」「未熟な表現による言葉の暴力」「保護者の目が届かない」等も要因ですが、中には「なりすまし」や「意図的な誹謗中傷」「既読スルーを許さない」「グループ参加の強要」「グループ外し」等もあり、深刻な行為に対するハードルが低くなっていくのも特徴です。我が子を守るには「利用の約束の徹底」が大切です。深刻な場合は警察(生活安全課)に相談することも必要です。

～次回は「ケイタイ利用の約束」について～



～「安心・安全(にこにこ)」「交流(わくわく)」「探求(どんでん)」～